

#### 4-(1)-⑰ 産学官連携

本学では、地域社会や産業界との全学的な連携活動を通じて、多様な教育機会の提供を図るとともに、社会に対して際立った影響を与え続ける研究・社会貢献活動を展開している。

##### ■共創デザイン室

産学連携事業の窓口となっている共創デザイン室では、令和元（2019）年度は年間 100 件以上の相談案件に対応し、67 件総額 7,544 万円の受託契約を締結した。本学では受託研究プロジェクトへの学生参画を重視しており、869 人の学生が参加するなど、地域貢献と学習効果の両面で成果が現れている。また、アート分野における地域連携の可能性を広げるため、上山城下町アート展や山形県護国神社絵馬制作など、新たな分野の裾野を広げる受託事業も展開した。

##### ■協定締結企業との連携

2 年目となる株式会社 IHI との連携事業では、デザイン思考をベースとした新しいサービス、製品提案のワークショップに取り組み、斎藤保代表取締役会長を本学に迎え成果発表を行った。また、卒業／修了研究・制作展（令和 2（2020）年 2 月 6 日～2 月 11 日）では 3 名の卒業生の作品に対し、同社より「デザイン部門」「アート部門」「デザインシンキング部門」の 3 部門の IHI 賞が授与された。

##### ■文化財保存修復研究センター

文化財保存修復研究センターは、地域の文化財の保存修復活動に注力し、例年 20 件以上の研究業務を受託している。令和元（2019）年度の受託件数は 21 件となり、2,646 万円の受託契約を締結した。20 年計画で実施される鶴岡市善寶寺の五百羅漢像修復プロジェクトでは修復の公開作業を実施することにより、地元庄内地区の注目を集めている。

また、山形市内では、日本最古といわれる元木の石鳥居の保存修復に向けて、山形市からの委託を受けて調査を実施した。

##### ■高大連携事業の推進

本学のデザイン思考ノウハウを、文部科学省が推進する「探究型学習」のカリキュラムとして活用することを通して、高等学校と本学との連携を推進している。

これまで連携協定を締結した山形東高校、東桜学館中学校に加え、令和元（2019）年度から新たに山形西高校との連携も開始した。これら連携は、地元メディアのみならず、全国紙及び教育メディアに掲載されるなど注目を集めた。また、高等学校の教員向け指導書「デザイン思考を活用した探究型学習プログラム」を制作し、教育連携校での活用を経て、全国の希望する高等学校に配布する予定である。

11 月に開催した「探究型学習研究大会」には、146 名（前年度比 178%）の高校教員、自治体関係者が出席した。宮城県教育委員会からも協力の要請を得るなど、探究型学習の拠点大学として山形県外からも信頼を獲得しつつある。